

秋の木立を駆け抜ける！

勝山恐竜クロカンマラソン開催

10月30日に、第7回勝山恐竜クロカンマラソン大会が長尾山総合公園を会場に開催されました。



■1473人が参加

2年ぶりに開催

今大会には、県内外から1473人の参加があり、長尾山総合公園を中心とした、2km、3km、5km、10kmそれぞれのコースで30部門に分かれて、小学校低学年親子の部から、次々とスタートしました。

当日は、朝から小雨の降るあいにくの天気でしたが、参加された選手皆さんは、木立の中を、さっそうと駆け抜けていました。

■君原健二さんも参加

ゲストランナーとして、かつやまマラソン大使に任命されている、メキシコオリンピック銀メダリストの君原健二さんも参加され、10kmコースなどを走りました。

また、全レース修了後、君原さんの講演会も開かれました。

家族5人で選手宣誓

長岡さん一家

今大会の選手宣誓は、長岡渉さん(43) 荒土町新保 一家5人で仲良く行いました。



選手宣誓を行う長岡さん一家

本番では、家族みんな大きな声ではっきりと「美しい自然を楽しみながら、ゴール目指して走りぬくことを誓います。」と、力強く宣誓しました。

■君原健二さん講演会

全レース修了後、県立恐竜博物館の研修室で、「私を育ててくれたランニング」と題し、君原健二さんの講演会が開かれました。



講演する君原さん



君原さんのサイン会の様子

講演の中で君原さんは、「目標を持って努力し続けることが大事だ」と話されました。現在70歳ですが、75歳でボストンマラソンに招待されるため、そこで完走することを目標に、現在も努力しているとのこと。

優勝者インタビュー

10km 60歳以上男子の部優勝

山本秀男さん(60) 兵庫県



3回目の優勝
この大会には、これまでに50歳代5kmの部で2回出場していて、その2回とも優勝できました。今回は60歳になり、初めて10kmに参加してみました。

ひそかに優勝を狙っていたので、今はホッとしています。妻が遅羽町比島の出身なので、前身大会である奥越マラソンにも参加したことがあります。このクロカンコースは、市街地に近い場所にあるながら、起伏のある面白いコースなので、これからも参加していきたいと思っています。



林間を駆ける



選手受付風景



親子の部表彰式



ゴール前の激走



完走証の発行



自分の順位を確認